

平成26年度治山教室

大井川治山センターと榛原川地区治山協議会では、平成26年8月8日（金曜日）に小学生を対象とした恒例の治山教室を川根本町の榛原川地区で開催しました。

台風の接近が予想されましたが、子どもたちの願いが通じたのか何とか台風も足踏みをしてくれたようです。

バスの車内で自己紹介の後、森林の働きや治山事業について説明をしながら現地へと向かいました。

☆開会式



ヘルメットを確認して出発します。

☆工事箇所の見学①

最初はゴボウ雑治山工事箇所の見学です。

着手前の写真と復旧途上の現況及び完成予想図の説明を受けたり、ケーブルクレーンでの資材運搬など興味深そうに見学していました。



☆体験（測量・立木調査）

続いて光波測距儀を使用しての測量体験を行いました。



赤白2班に分かれて距離の測定を体験した後、目測で距離を当てるクイズを実施しました。成績優秀者の発表は後のお楽しみということで次に移動しました。

休憩を挟んで次は立木調査体験です。

輪尺、測桿、バーテックス等の使い方を教えてもらい、胸高の測定を体験しました。



日頃なかなか目にすることのないブナやヒメシャラの大木に興味深そうに触れていました。

昼食休憩の前には特別にチェンソーアートのパフォーマンスを見学しました。



何が出来たかは
後のお楽しみ 😊

昼食後は樹高の目測クイズを実施しました。



「これも賞品があるよね」と念押ししつつ子どもたちは真剣な表情で樹高を測定していました。

☆工事箇所の見学②

次の見学地は、榛原川地区最大の崩壊地であるホーキ雑治山工事箇所です。



日頃は霧でなかなか視界が悪いのですが、今日は景色がよく見えて迫力ある工事施工地に感嘆の声があがりました。



☆搭乗体験

そして、いよいよ子どもたちが楽しみにしていた重機の搭乗体験です。
大小3大のパワーシャベルの操縦席に3班に分かれた子どもたちがかけあがりました。



予定した時間は瞬く間に終了し、閉会式へと進めました。

☆閉会式

閉会式ではクイズの成績優秀者を表彰し、参加者全員にカブトムシやクワガタなどのお土産があり、子どもたちの目が輝きました。

ちなみにチェーンソーアートで出来たのもクワガタのモニュメントでした。



チェーンソーアート
クワガタのモニュメント

帰りのバスの中では疲れたのか、だいぶ口数が少なくなりましたが、時折、森林や治山事業についての難しい質問も飛びだし、子どもたちが想像以上に興味を持っていることが確認でき、主催者としても有意義な一日となりました。

参加者の皆様お疲れ様でした。